

# 指導と評価の年間計画(公民)〈例〉

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

科目	公共	学年	〇年	指導クラス	〇年〇組	指導者名	〇〇 〇〇
単位数	2	使用教科書	〇〇〇〇〇〇 (〇〇社)		副教材・問題集等	〇〇〇〇〇〇 (〇〇社)	

## 1. 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸問題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現実社会の諸問題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会で生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸問題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決しようとしている。

## 3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	A 公共の扉	(1) 公共的な空間を作る私たち ①人間としての生き方 ②個人の尊厳と自主・自律	1 1	・人間としての生き方について、人間が社会的存在であることを理解し、自らの体験の振り返りや対話を通して、多面的・多角的に考察する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流 ・行動観察 ・資料の活用	○		
		③青年期の意義と課題 ④キャリア形成と自己実現	1 2	・自己の価値観の形成や自主や自律を獲得し自立した主体になることが、自己実現とよりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 ・青年期の課題や自己実現の方法などについて、自らの体験を振り返りながら、多面的・多角的に考察し、表現する。				
		⑤伝統や文化・宗教	2	・社会で参画する自立した主体とは、地域社会などの一員として生き、他者との協働により国家・社会などの公共的な空間を作る存在であるということを理解する。				
		(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 ①人間としての在り方生き方	3	・自他共に納得できる解決方法を見いだすための、幸福や公正の考え方について、先哲の思想や生き方、思考実験などを用いて考察、構想する。				
5		②現代の諸問題	3	・環境問題や生命倫理などの諸問題について、幸福と公正などの考え方を活用し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・選択・判断の手がかりとなる考え方を活用し、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決しようとする。	・探究活動での行動観察 ・レポート	○		○
		(3) 公共的な空間における基本的原理 ①人間の尊厳と平等 ②個人の尊重	1 2	・人間の尊厳と平等、個人の尊厳が公共的な空間における基本原理であることを理解する。 ・個人と社会の在り方について、選択・判断の手がかりとなる考え方や公平・公正な調整などを通して、日常生活と関連付けて考察し、表現する。	・ワークシート ・生徒間の意見交流 ・行動観察	○		○
		前期中間考査	1	・学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。		○	○	
6		③民主主義 ④法の支配 ⑤自由・権利と責任・義務	1 1 3	・日本国憲法の基礎となる考え方を基に、公共的な空間における基本的原理について生活と関連付けて理解する。 ・国家と個人の在り方について、判断の手がかりとなる考え方や思考実験などを用いて多面的・多角的に考察し、表現する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・行動観察 ・レポート	○		○
		⑥単元のまとめ	1	・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するため問い続けたい現代の課題を見出し、その課題を問い続けたいことの意義を見出す。				○
		B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (1) 主として法	3	・法や規範が日常生活と関連していることを理解する。 ・対立の公平・公正な調整について、ルール作りの活動などを通して、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流	○		○

	に関わる事項				・模擬裁判 ・行動観察 ・資料の活用			
		②多様な契約	2	・契約上のトラブルを避けるために何が必要かについて、契約に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめることを通して、契約が当事者間の意思に基づくことや契約による多様な活動が契約により生じる責任を理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。			○	
8 ・ 9		③消費者の権利と責任	2	・契約上の諸課題から消費者を守るための法的規制や行政による施策について理解する。 ・消費者としての自らの選択が、現在及び将来の世代にわたって社会・経済の在り方ごどのような影響を及ぼすかについて考察する。			○	
		④司法参加の意義 ⑤単元のまとめ	4	・公平・公正に判断することについて、法律家が果たしている役割や法権の重要性を理解し、模擬裁判などを通して、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するため問い続けていく現代の課題を見出し、その課題を問い続けていくことの意義を見出す。			○	○
		前期期末考査	1	・学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。			○	○
10	(2)主として政治に関わる事項 ①	①政治参加と公正な世論の形成と地方自治	5	・民主主義における基本原理や世論の形成の特質を踏まえて、主権者として公正な判断力を備えることが必要であることを理解する。 ・制度や政策の実現可能性について、模擬議会などの活動を通して、資料や情報の分析などを行い、論拠をもって考察、構想し、表現する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流	○		○
		②国家主権 領土 ③単元のまとめ	2	・国家間の未解決の課題について、国際法の意義と役割について理解し、平和な解決に向けて、多面的・多角的に考察、表現する。 ・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するため問い続けていく現代の課題を見出し、その課題を問い続けていくことの意義を見出す。	・模擬議会 ・行動観察 ・資料の活用		○	○
11	(3)主として政治に関わる事項 ②	④我が国の安全保障と防衛	2	・日本国憲法の平和主義について、我が国の安全と世界の平和の維持の関連や国際社会の動向を踏まえ、理解する。 ・国際社会の動向を踏まえ、我が国の安全保障と国際社会の平和と安全の維持への関わり方について、多面的・多角的に考察する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流	○		○
		⑤国際社会における我が国の役割 ⑥単元のまとめ	2	・自分が取り組みたいSDGsの具体的施策について、日本国憲法の平和主義や国際社会における我が国の役割を理解し、論拠をもって考察する。 ・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するため問い続けていく現代の課題を見出し、その課題を問い続けていくことの意義を見出す。	・行動観察 ・資料の活用		○	○
12	(4)主として経済に関わる事項 ①	①職業選択	2	・望ましい勤労観・職業観や勤労を尊ぶ姿勢を身に付けるとともに、職業選択の意義について理解する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流	○		○
		②雇用と労働問題	2	・望ましい働き方について、雇用や労働問題、経済の変化や勤労権の確保、契約や法との関連を理解し、考察、構想し、表現する。	・行動観察 ・資料の活用		○	○
		③負担及び租税の役割	3	・公的サービスにおける負担の役割や租税を中心とした公的負担の意義と必要について理解する。 ・税制の構築について、効率と公正の確保や税制における公平・中立・簡素の条件を満たすことが重要であることを理解する。		○		○
		後期中間考査	1	・学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。		○	○	
		④少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化 ⑤単元のまとめ	2	・社会保障の充実と安定化について、諸資料から情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめ、社会保障制度の意義や役割、現状と課題などを理解し、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するため問い続けていく現代の課題を見出し、その課題を問い続けていくことの意義を見出す。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・行動観察 ・資料の活用		○	○
1	(5)主として経済に関わる事項 ②	①市場経済の機能と限界	2	・市場機能の限界について、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取ることを通して、理解する。 ・資源や富の配分について、幸福、正義、公正の観点や消費者と企業との関係などの観点から、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・ワークシート ・グループ活動による議論 ・生徒間の意見交流	○		○
		②金融の働き	2	・金融の仕組みや意義、役割について、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、多様な決済方法や金融制度改革の動向、金融政策の変化を踏まえて、日常生活と関連付けて理解する。 ・企業経営などのシミュレーションを通して、自己と金融の関わりについて考察、構想する。	・行動観察 ・資料の活用	○		○

		③経済のグローバル化と相互依存の深まり ④単元のまとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化や技術革新によって起こる社会の変化について、国際的な分業や地域的な統合など、経済活動が世界的な規模で自由に行われていることを理解し、多面的・多角的に考察、構想する。</li> <li>・単元を貫く問いに対して、よりよい社会の形成に参画するために問い続けていく現代の課題を見出し、その課題を問い続けていくことの意義を見出す。</li> </ul>			○		○
2 ・ 3	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①課題設定 ②探究活動1 ③中間報告 ④探究活動2 ⑤探究活動報告会	1 2 1 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見出し、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標として、論拠を基に自分の考えを説明、論述し、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・グループでの中間報告</li> <li>・最終報告会</li> <li>・レポート</li> </ul>				○
		学年末考査	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。</li> </ul>			○	○	
		授業時間 合計	70						